

せいじん

発行 相模原市立清新公民館
 編集 広報部
 相模原市中央区清新3-16-1
 ☎042(755)8000(代)

清新公民館区内人口：30,481人
 世帯数：15,109世帯
 (平成30年5月1日現在)

▶ 第218号

ホームページは [清新公民館](#) どうぞ!

江戸時代の人々が将来に不安も抱かず、陽気にのんびりした時間を助け合いながら小さなコミュニティの中で、身分・職業などの共通する集団の中で結束していた、生きる上で病気を恐れた、即死という現実、平均寿命も短い、よって早寝早起、暴飲暴食、適度の有酸素運動、有機野菜の摂取、さらには究極の健康維持のために銭湯と温泉利用をしていたという。それが明治維新になると根底から変えられたという。植民地化への危機感が原動力であったとも。

私が高校生のとき、社会科の授業の際、明治は治まる明と揶揄された。しかし、多くの智者が排出された。まさに神算鬼謀（しんさんきぼう）人間が考えたとは思えない優れた計略」と教わった。明治5年12月

今年には明治維新からちょうど150年です。このタイミングで講師に立命館大学教授 山崎有恒先生を招いての講座「明治維新とは、何だったのだろうか」です。期待と楽しみ全開で当日を迎えた次第です。館長代理に案内され、先生が入場して来ました。手元のパンフレットに描かれた瓜二つの風貌でした。（ちなみに似顔絵を先生が大変気に入り、今後使いたいので頂きたいとの申し出があり承諾したとのことです。）先生は横浜市出身とのこと、よって親しみがぐっと湧いた所で本題に入る。



立命館大学文学部教授 山崎 有恒氏

3日が明治6年1月1日となり、太陰暦から太陽暦が導入。これは政府の財政窮乏により役人にボーナス支給が出来ない策だったという大隈重信の発案とのこと。大隈重信は東京専門学校創立、今の早稲田大学です。ちなみに大隈重信は明治13年明治天皇行幸に随行し相模原市の底沢へ足を踏み入れ、達筆な筆さばきで「御小休」の看板を残されています。

150年のうちの前半75年は軍事、後の75年は経済で世界を動かした。講座は120分間、時に笑わせジョークを飛ばすなど先生の話術力に傾倒されてアツという間の時間でした。

文学歴史講座 5月12日(土)大会議室にて開催

明治維新とは何だったのか...

〜幕末から明治へ〜そして今日へ〜

山崎 有恒氏



江戸まで
 人々の生活は卯、巳のんびりと... 江戸時代のコミュニティーの中で助けあっていたから...



維新以後
 植民地化に合わせた学歴重視の競争社会の実現。強い軍隊をつくるためにも...

公民館を支える人々



清新地区社会福祉協議会

| | |
|---------|-------|
| 会 長 | 山口 敏夫 |
| 副 会 長 | 武田 邦雄 |
| | 天明 信子 |
| | 矢吹 和男 |
| 会 計 事 | 田所 洋子 |
| | 高木 幸夫 |
| | 神谷 静枝 |
| 地域福祉推進員 | 飯出 敦子 |
| 地域福祉支援員 | 山崎 和子 |

健康づくり普及員

| | |
|--------|--------|
| 平山 厚子 | 内田 キヨ子 |
| 日吉 由美子 | 清水 利治 |
| 松田 敬子 | |

公民館職員

| | |
|--------|--------|
| 館 長 | 佐藤 彰夫 |
| 館長代理 | 田岡 宏邦 |
| 主任(兼務) | 吉田 知広 |
| 主 事 | 小林 恵子 |
| 図書室職員 | 小倉 めぐみ |
| | 鴻上 正子 |
| | 山下 典子 |
| | 生駒 美智子 |

青少年指導員

| | |
|--------|-------|
| 八木 郁夫 | 鈴木 昭穂 |
| 小山 和子 | 原 登代子 |
| 嶋田 千代子 | 歌川 俊子 |
| 新井 徳子 | 鈴木 亜弥 |

スポーツ推進委員

| | |
|--------|--------|
| 大山 孝 | 外川 学 |
| 鈴木 則之 | 宮川 砂由理 |
| 大貫 小百合 | 佐藤 英朗 |
| 山中 覚 | 山口 佳代 |

清新地区自治会関係者

【清新地区自治会連合会】

| | |
|-----|-------|
| 会 長 | 田代 明寛 |
| 顧 問 | 武田 邦雄 |

<自治会名>

小 原 町
南 橋 本
サンヴェール橋本
小山2丁目
清新第二
清新4丁目
清新5丁目
清新6丁目
清新7丁目
清新8丁目
清新仲町
清新比丘口
すみれ
中央1丁目
中央4丁目
中央5丁目
地域活力推進員

<会長名>

平岡 陽子
柴田 文夫 (副会長)
鶴留 修
池田 弘幸 (副会長)
野尻 萬憲 (会計)
霧生 公一 (副会計)
郡谷 照雄
仙田 肇
大山 孝
小俣 広慈
本所 要 (監事)
梶野 裕
山内 昭三
山本 正巳 (監事)
丹波 晴道 (副会長)
梅澤 明仁
中山 光子 (事務局)

【館区内自治会】

相模原駅前 星 清次



お世話になりました



青木 悦子

清新公民館では、たった2年という短い期間でしたが、私にとって何よりも貴重な2年となりました。いつも笑い声の絶えない「清新」。開拓者の不屈の魂が宿る「清新」。そして、バラの花言葉でもあるロマンティックな「清新」。

この「清新」でいただいた、たくさんの方の恩を心に抱き、次の職場でも私なりに頑張ります。

本当にありがとうございました。



新たに旅立ちます



西川 鉄兵

清新公民館で過ごした2年間。短い期間でしたが、私の人生の中でとびきり充実した中身の濃い時間でした。様々な勉強をさせていただき、いつも笑顔でいられる心地よい場所でした。

それら全ては、清新地区の皆さまのおかげです。この感謝の気持ちを忘れず新たな冒険に旅立ちます。

皆さまも、もっと公民館に“つどい”“まなび”“つながって”ください。本当にありがとうございました。